

8月
August

SINCE 1986

渡慶次自治会だより

Monthly Newsletter



第418号

Tokeshi neighborhood
association in Yomitan Village



1984年(昭和59年)11月10日に実施された出生祝い

8月13日は「旗スガシ」

8月13日(土)は年中行事である「旗スガシ」となっております。

旗スガシは旧7月16日に字役員によって、朝儀の根神に字の繁栄祈願を行うと同時に、獅子の御願を行い、獅子を迎える伝統行事です。

当日は午前10より行いますので、役員の皆様は公民館へお集まりくださいますようお願いいたします。

渡慶次旧盆エイサーまつりのお知らせ

渡慶次青年会では、旧盆エイサーに向けて取り組みを進めております。

8月13日(土)午後8時より、公民館広場においてエイサーまつりを行います。

ご来場の皆様は、1)マスクの着用、2)手指のアルコール消毒、3)ソーシャルディスタンス、の3点を守っていただき、観覧してくださいますようお願いいたします。

プログラム

- 1、青年エイサー演舞
- 2、渡慶次音頭
- 3、OBエイサー
- 4、青年エイサー演舞
- 5、カチャーシー

また、8月12日(金)ウークイの日より『道じゅねー』を行いますので、新築祝や、景気づけ等で御用がございましたら、公民館か青年会長へご連絡ください。

青年会長 池原克騎

8月の年中行事のお知らせ

8月13日(土) 旗スガシ(旧7月16日)

朝儀に祀られる神に対し、村の繁栄を祈願する奉納の意とされる。

渡慶次の象徴である旗頭(ハタガシラ)を先頭に、自治会役員や行政班長等が行列をなし、朝儀の根神へ向い、村の繁栄を祈願し若い男女によるエイサーや棒術が奉納される。また、獅子の祈願も同時に行われ、三味線、太鼓、鐘、ホラ(ブラ)を鳴らし獅子を迎える。

8月27日(土) カンカー祭り(旧8月1日)

部落内から伝染病や悪風を払いのける御願で部落内七門から外に向かって祈事される。年2回行われており、今回は旧4月1日に実施された。

8月28日(日) ボージヌ御願(旧8月2日)

忠魂碑に向かって左側にある大岩は、『ボージヌ前』と呼ばれる御嶽である。その御嶽にて御願を行う。御嶽は祖神を祀ることから、『ボージヌ前』に祀られている霊と祖神に対する御願を行う。

読谷村陸上競技大会への選手選考

体育振興会では9月4日に開催される「読谷村陸上競技大会」に向けて、選手選考を行っています。

選抜された選手には、後日通知文書を届きますので、ご協力よろしくお願いたします。

今年7月の出来事など…

第57回読谷村総合体育大会終了

第57回読谷村総合体育大会は、7月3日に実施された3競技で夏季大会すべての競技が終了しました。

7月3日に実施された男子バレーボールでは惜しくも4位でした。

柔道、相撲大会は出場を辞退しました。

男子バレーボール大会は近日 YouTube 配信予定。

年中行事を行いました

六月御祭 旧6月15日

稲の収穫儀礼の御願をアタトーヤで行いました。

井の御願 旧6月25日

人間にとって命の泉である井戸に感謝を込めて御願を行いました。



六月御祭 アタトーヤにて



井の御祭 チンガーグラー 包井小にて

夏休みラジオ体操と宿題教室の中止

子ども会育成会では、夏休みラジオ体操と夏休み宿題教室を感染拡大防止のため中止しております。

ラジオ体操については、8月1日より実施する方向で調整しております。

渡慶次文化点描

渡慶次の組踊「大川敵討一村原」

5年ごとに渡慶次まつりで上演される渡慶次の3時間におよぶ長編組踊「大川敵討一村原」。

2015年の上演後、2020年に上演予定でしたが、コロナ禍で延期となり今年上演の予定です。そのため、演者・関係者の方々が日々、練習に励んでいます。

そこで、今回はこの渡慶次の組踊「大川敵討一村原」に関するお話を紹介します。

渡慶次の組踊「大川敵討一村原」

「組踊」は、唱え、音楽、踊りによって構成される沖縄独特の歌舞劇であり、沖縄が誇る伝統芸能と言えます。1972年（昭和47）には国の重要無形文化財に指定され、さらに2010年（平成22）11月にはユネスコの無形文化遺産条約に基づき、「人類の無形文化遺産の代表的な一覧表」に記載されました。

組踊を方言ではクムイと呼び、玉城朝薫の「執心鐘入」、「孝行の巻」、「女物狂」、「二童敵討」、「銘苅子」の5大作をはじめ、沖縄のほぼ全地域、集落に残されているようです。

近隣の字でも、字儀間の「八重瀬」、字宇座の「久志の若按司」、字瀬名波の「天願の按司」、字長浜の「森川之子」等、渡慶次校区各字でもそれぞれ組踊が継承されています。

私たちの渡慶次に継承されている組踊「大川敵討」は別名「忠孝婦人（ちゅうこうふじん）」や「村原（むらばる）」とも言われ、渡慶次では「村原」と呼称しています。笑いや迫力ある立ち回りが凝縮された約3時間の長編組踊であり、渡慶次に伝わったのは明治中期以後と言われています。

多彩な登場人物と組踊の妙味が詰まったこの組踊、豊かな内容と琉球古典音楽の専門性と、いずれをとっても、その継承には多くの情熱と努力が必要なことから、渡慶次の先人たちの想いが伝わる大作でもあります。

戦後の継承

戦前の脚本は焼失したため、1956年（昭和31）に新垣喜英氏が関係者からの聞き取りを行い、続け書きの行書体を用い、手書きで脚本をまとめたそうです。

その手書きの脚本を使って、「渡慶次の音楽同好会」が県内の古典音楽の諸先輩方をもてなすために、

同好会の総会時に読谷沖映において上演した」と「続渡慶次のあゆみ（下巻）」にあります。

現在継承されている組踊「大川敵討ー村原」は4幕構成なのですが、その上演時には1幕と2幕のみを演じたそうです。

上演するのに多くの出演者と多くのスタッフの協力が必要なこの組踊を、なんと渡慶次老人会組織である「青洋会」が1972年（昭和47）12月24日、全幕を通しての本格的な上演を行ったそうです。

青洋会の持つバイタリティにはいつも感嘆させられることが多いのですが、まさか3時間の組踊を采配し成功させるとは、渡慶次青洋会恐るべし、です。その上演のための衣装・小道具も1970年（昭和45）から長期に渡り準備を行っていたそうです。

その後、何回かの上演を行い、いつから渡慶次の伝統芸能として定期上演するようになったのかは定かではないのですが、1976年（昭和51）には読谷まつりの前身である読谷村文化まつりでの上演を行っています。

当時の音声は録音テープ

当時の立方（演者）の台詞や地謡はテープに録音し、それに合わせて演者が動く方法で演じられていたそうです。現在のようにワイヤレスマイクや高性能マイクが無い時代ですから、演者の声を沢山の観客に届けるにはテープに録音した音声を再生するしか方法がなかったようです。

その録音にはかなり苦労したと、2005年（平成17）8月の続渡慶次のあゆみ編集の際に録音された、組踊に携わる方々への聞き取りが現存しています。

テープへの録音は波平の録音装置のあるスタジオや関係者の自宅、安田慶善氏の三線教室、渡慶次小学校の音楽室などで録音したそうで、もちろん、当時の防音・吸音設備の整っていない部屋での録音ですから、猫の鳴き声が入ったり飛行機の爆音が入ったりと「録音には相当気を使った」と述べています。

演者はテープに録音された音声に合わせて演技を行うわけですから、現在で言ういわゆる「口パク」のための録音を行います。ただ、録音の際には演者は脚本を見ながら発声するのですが、三線と合わず、何度も繰り返して録り直したそうです。

そして、この録音には「動作や演技の間」の時間も必要なので、当初はその「間」も入れながら録音していたようですが、演ずる舞台によりその「間」の時間も異なるのか、あとには連続して録音し、上

演の際にテープ再生担当のオペレーターが、動作が入るところは、テープを止めて「間」を入れたりしたそうです。ただ、このテープと動作は合わすということ是非常に難しく、何度も何度も練習を重ねたそうです。

ただ、オペレーターが間違えて操作することもあり、前述の1976年の読谷村文化まつりでは、台詞を言う場面のところで、テープの反転ボタンを押してしまい、大慌てになったという逸話もあります。

このテープによる上演ですが、1983年（昭和58）まで行われ、1988年（昭和63）からは、録音テープを用いず、演者がすべて台詞を覚えて演じるようになりました。

その後、上演の期間が4年毎、3年毎と変化しましたが、現在は5年毎の上演となり、文化財保存委員会が中心となり役者の選考や指導、そして上演の際の裏方・地謡を努めています。

今年は組踊「大川敵討ー村原」を楽しんで

今年、初めて組踊「大川敵討ー村原」をご覧になれる方もおられると思います。「村原」の舞台には派手な演出や舞台装置はありません。またセリフも独特の方言・リズムがあるため、最初は戸惑う人も多いはず。でもその分、立方（演者）の所作1つ1つが私たちの「想像力」を刺激し、目が離せなくなります。

そして、渡慶次の皆さんが手作りで作成した、知恵の詰まった衣装も見どころです。昔の琉装をした人が動き回るところは、組踊以外ではあまりみることができません。

また、「組踊」は「聴くもの」といわれるほど、音楽が重要な役割を担っています。組踊における音楽の担当を「地謡（じうてー）」といい、地謡により場面や状況の説明を行い、劇中における舞踊を伴奏し、登場人物の心情などを表します。この生演奏に合わせて、舞台上でさまざまな人間ドラマが繰り広げられるのです。

今年はぜひとも組踊「大川敵討ー村原」を楽しんで下さい。



1986年（昭和61）第8回「大川敵討ー村原」発表会

今月の予定表

2022年(令和4年)

8 はちぐわち 月



2019年(和令元年)旗スガシにて

日 Sunday	月 Monday	火 Tuesday	水 Wednesday	木 Thursday	金 Friday	土 Saturday
31	1 <small>旧 7.4</small> 区長会 グラウンドゴルフ	2 <small>旧 7.5</small>	3 <small>旧 7.6</small> 文化財保存委員会 カラオケ	4 <small>旧 7.7</small> 食事サービス	5 <small>旧 7.8</small> グラウンドゴルフ	6 <small>旧 7.9</small>
7 <small>旧 7.10</small> 婦人会ひまわり学級	8 <small>旧 7.11</small> グラウンドゴルフ	9 <small>旧 7.12</small> 食事サービス	10 <small>旧 7.13</small> 旧盆ウンケー	11 <small>旧 7.14</small> 旧盆ナカヌヒー 山の日	12 <small>旧 7.15</small> 旧盆ウークイ グラウンドゴルフ	13 <small>旧 7.16</small> 旗スガシ
14 <small>旧 7.17</small>	15 <small>旧 7.18</small> 区長会 パークゴルフ グラウンドゴルフ	16 <small>旧 7.19</small>	17 <small>旧 7.20</small> 行政委員会 ボウリング カラオケ	18 <small>旧 7.21</small> 食事サービス	19 <small>旧 7.22</small> グラウンドゴルフ	20 <small>旧 7.23</small>
21 <small>旧 7.24</small> 婦人会ひまわり学級	22 <small>旧 7.25</small> 自治会費第2期 徴収日 グラウンドゴルフ	23 <small>旧 7.26</small> 福祉いぶし銀会	24 <small>旧 7.27</small>	25 <small>旧 7.28</small> 食事サービス 子ども獅子舞 健康体操	26 <small>旧 7.29</small> グラウンドゴルフ	27 <small>旧 8.1</small> カンカー祭
28 <small>旧 8.2</small> ボージヌ御願	29 <small>旧 8.3</small> 中学校始業式 グラウンドゴルフ	30 <small>旧 8.4</small>	31 <small>旧 8.5</small>	1 小学校始業式	2	3

青洋会のサークル活動日程

グラウンドゴルフ愛好会 毎週月曜日と金曜日午前9時から
 レクサークル …………… 第1と第3火曜日午後2時から
 カラオケサークル …………… 第1と第3水曜日午後2時から
 健康体操クラブ …………… 第2と第4木曜日午後2時から
 パークゴルフ愛好会 …… 第3月曜日(8月15日)午後3時から
 ボウリングサークル …… 第3水曜日(8月17日)午前9時から

子ども獅子舞クラブ

活動日は第2・4木曜日 午後8時から9時まで

子ども獅子舞クラブ会員募集中

渡慶次子ども獅子舞クラブでは、小中学生の会員を募集しています。
 ぜひ、お子さんを地域伝統芸能の保存・継承活動に参加させてみてはいかがでしょうか？
 入会に関するお問い合わせは、公民館へ電話をくださるか、またはメールにてお願いいたします。